



萩原健太が語る

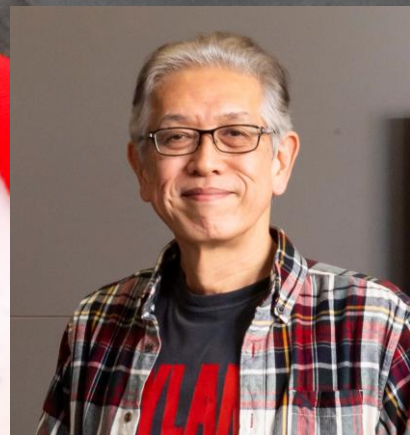
# ユーミンの荒井由実時代

(1971-1976)

*Yuming*

ファースト・アルバム『ひこうき雲』を  
1973年にリリースしてからすでに半世紀以上、  
まったくスピードをゆるめることなく  
時代を駆け抜けてきユーミン。  
最新のAI技術を積極的に導入した通算40作目の  
新作アルバム『ワームホール』では、  
“松任谷由実”ではなく、再び“Yumi Arai～荒井由実”  
というデビュー時の旧姓に立ち返ってみせました。

いつの時代もユーミンは最高ですが、  
せっかくの機会です。  
このタイミングでもう一度、  
原点である荒井由実時代の彼女の活動に立ち返り、  
その瑞々しい才能に改めて胸躍らせましょう。



【日 時】2026年1月24日（土）14:00～15:30  
【会 場】大和市文化創造拠点シリウス 6階 大和市生涯学習センター601講習室  
【定 員】50名（先着）【参加費】1,000円 【対 象】どなたでも  
【申 込】12月20日（土）10時から受付開始  
お電話または6階生涯学習センター窓口へ  
右のQRからもお申込みいただけます。



お申込・お問合せ 046-261-0491

## ●萩原健太 プロフィール Kenta Hagiwara Profile●

1956年生まれ。音楽評論家、DJ。早稲田大学法学部卒業後、早川書房編集部勤務を経てフリーに。TBS系『三宅裕司のいかすバンド天国』（89～90年）やテレビ朝日系『タモリ倶楽部』内「空耳アワード」（93年～）の審査員なども担当。音楽評論の傍ら、音楽プロデュース、コンサート演出、作曲・編曲等も手がける。主なプロデュース作品は米米CLUB『Go Funk』、山崎まさよし『HOME』、憂歌団『知ってるかい!?』、鈴木雅之『Funky Flag』など。主な著書に『70年代 シティ・ポップ・クロニクル』（エレキングブックス）、『ボブ・ディランは何を歌ってきたのか』（エレキングブックス）、『ザ・ビーチ・ボーイズ・ディスク・ガイド』（ミュージック・マガジン）、『ポップス・イン・ジャパン』（新潮文庫）、『はっぴいえんど伝説』文庫版（シンコー・ミュージック）などがある

※天候や交通機関の運行状況及びその他不可抗力により、開催が中止となる場合があります。

※駐車場の数に限りがありますので公共の交通機関でお越しください。

主 催 | やまとみらい（大和市文化創造拠点等 指定管理者）／大和市生涯学習センター <https://yamato-bunka.jp>